



### 第4回デジタル田園都市フォーラム

MCSCCは、5月18日、長崎県美術館ホール(長崎市出島町)で「第4回デジタル田園都市フォーラム」を開催しました。



#### デジタル田園都市実現へ意見交換

第1回を2019年2月島根県益田市、第2回を同年7月東京都品川区で「スマートシティテクノロジーフォーラム」として開催してまいりましたが、「スマートシティ」は大都市ばかりでなく、地方でこそ必要であるという視点から、第3回を2022年5月に「デジタル田園都市フォーラム in 長崎」(後援:長崎県)として開催し、今回はちょうど1年後の日に再び同じ会場で第4回を開催したものです(第4回の後援は、長崎県、長崎市、諫早市、大村市、吉崎市、雲仙市)。

今年の第4回では、昨年の基調講演をビデオメッセージで行ったデジタル庁の平塚敦之戦略・組織グループ次長が来崎し来賓挨拶を頂戴するとともに、インドネシア国家研究イノベーション庁のヨビ博士(地方創生担当次官)からのビデオメッセージ、長崎県の平田研副知事、ルートヴィレツジ代表でもある株式会社アドミンの山口知宏代表取締役からご挨拶をいただきました。また公務と重なった鈴木史朗長崎市長、山本浩章益田市長ほかから温かい励ましの祝電を寄せて頂きました。



基調講演は、東京大学大学院工学系研究科の大澤幸生教授、一般社団法人データ社会推進協議会の杉山恒司理事、大村市の山中さと子企画政策部長からいただき、続いてMCSCCの両代表理事から「長崎からインドネシアへ再び長崎から新しい歴史が動き出す」(橋本)、「冬のデジ田報告とMCSCC未来GX戦略」(豊崎)と題して報告を行い、さらに地元企業としてオーシャンソリューションテクノロジー株式会社(佐世保市)の水上陽介代表取締役から「スマート水産～宇宙からDX～」、日本アグテック合同会社(長崎市)の末松謙一代表社員職務執行者から「スマート農業LPWA～鳥獣リモートでDX～」を報告頂きました。

最後のセッションでは「長崎県全域のDX化、離島、成長国家インドネシアと繋がりASEANと共に成長する長崎県下企業と都市間連携の未来」と題してパネルディスカッションを行いました。前掲の水上陽介氏と山口知宏氏のほか、キュレーションズ株式会社の根本隆之代表取締役、電通国際情報サービスの森田浩史 X(クロス)イノベーション本部部長、アーキテクトグランドデザイン株式会社のファウンダー兼チーフアーキテクトでもある豊崎禎久代表理事がパネリストとして登壇し、橋本剛代表理事がモデレーターを務めました。

今年の第3回では平井卓也自由民主党デジタル社会推進本部長・初代デジタル大臣からビデオメッセージを頂戴するとともに、平田研長崎県副知事、中野一英株式会社NDKCOM代表取締役・長崎県次世代情報産業クラスター協議会会長、牛山智弘総務省大臣官房会計課長からご挨拶を頂きました。また、基調講演のほか、農林水産省大臣官房政策課デジタル政策推進室の阿部明香企画官(オンライン参加)やエアモビリティ株式会社の浅井尚CEO(空飛ぶクルマ)、株式会社eMobiの石川達基代表取締役(電動三輪モビリティ)、一般社団法人水都創造パートナーズ曾伯文業務執行理事(スマート水運)や長崎大学の上條由紀子FFGアントレプレナーシップセンター長、NDKCOMの吉田明子取締役ら10名をパネリストに迎え、「スマート農林水産」「陸海空マルチMaaS(スマート交通)」をテーマにディスカッションを行いました。